

## 自由民主党福岡市議団

新型コロナウイルスの感染症法上の類型が引き下げられたことを受けて、企業の業績、海外からの旅行者などさまざまな指標で改善が見られています。他方で物価高騰の影響は長期化をしており、事業所の経営や市民生活を支える施策については引き続き積極的な展開を求めています。

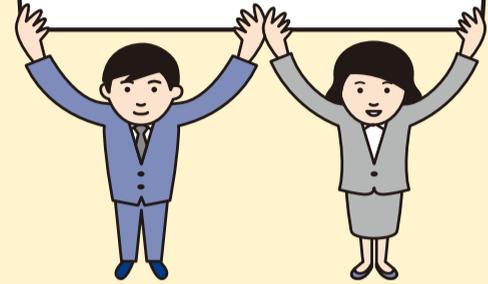
近年は都心のビルの建て替えが進み、本市経済の中心地の機能は目に見えて更新されています。これとは対照的に、農山漁村地域では過疎化や基幹産業の担い手の高齢化・後継者不足などさまざまな課題に直面しています。私たち自由民主党福岡市議団は、福岡市全体の均衡ある成長を目指す立場から、都心のみならず周辺部の暮らしや産業にも十分に配慮した市政運営を求めて政策提言を続けてきました。令和6年度は福岡市基本計画をはじめ多くの重要な行政計画の見直しが行われます。全市的なバランスの取れた計画となるよう、議論に参画してまいります。



ホームページ

# 会派の主張

令和6年度予算案や  
条例案に対する  
各会派の主張です。



## 公明党福岡市議団

元日に発生した能登半島地震など、近年相次ぐ大規模な自然災害、急激な物価高騰、少子高齢化など、日本はかつてない課題に直面しています。また、脱炭素への意識の高まりやテクノロジーの進歩など、社会は大きく変化し、人々の生活や働き方、価値観も多様化しています。

変わりゆく社会の中で、地域の安心と活力を見出すために、私たち公明党福岡市議団は、令和6年度も小さな声に耳を傾け、政策を市政に提案し政策の実現でお応えしていく。そのような温かくて、頼りがいのある政治を実現するため、徹して一人に寄り添い、国と地方を連携させながら、市民の声から政策をカタチにしていきたいと思います。

本年、公明党は結党60年の節目を迎えます。私たちはこれからも、『大衆とともに』との立党精神を片時も忘れることなく、誰もが安心して暮らせる、人と地域が輝く福岡市を目指し、果敢に挑戦してまいります。



ホームページ

## 福岡市民クラブ

元気といわれる福岡市ですが課題は山積みです。人口は増加しているものの若年層は減少傾向にあり、出生率も低水準。個人所得は伸びておらず、多くの産業・業種において必要な人材・労働力の確保が困難な状況があり、将来は楽観できる状況ではありません。我々はこういった現状認識に立った上で、本市将来像を以下4つの分野に整理し政策提案しています。

- ① 生活保障：一人ひとりの暮らしと幸せを大切にす社会
- ② 成長：人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市
- ③ 地域：市民が自ら発信し議論し決定する仕組みづくり
- ④ 共生：一人ひとりの生命と尊厳を守る安心・安全な基盤づくり

令和6年度は行政運営の最上位計画である「第10次福岡市基本計画」が策定されます。会派の理念が基本計画に反映されるよう積極的に発信していくとともに、働く者、生活者の目線に最も近い会派であるという自負を持ち、市民生活を最優先に考えた政策実現を目指します。



ホームページ

## 日本維新の会福岡市議団

私たち日本維新の会福岡市議団は、従来のしがらみのある政治にとらわれず、市民の皆様にとって、真に必要な政策を是々非々で進めていく政策集団です。

昨年度新たに結成された当会派は、平均年齢が若く、フレッシュな視点で市政の改革に取り組みます。

令和6年度予算等におきましては

- 行財政改革をはじめとした財政健全化の推進
- 新たな成長産業も含めた経済活性化の推進
- 教育支援をはじめとした次世代への重点投資
- 能登半島地震を受けた地域防災・減災対策の充実

などを基本軸におき、市民や来街者に喜ばれる福岡市を目指せるよう、適切な予算措置を求めました。

また、身を切る改革の精神で、市民に負担を求める前にまず自らが襟を正す・行動する考えのもと、令和6年度も全力で励んでまいります。

ぜひ、皆さまの忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。本年度もよろしくお願ひ申し上げます。



ホームページ

## 日本共産党福岡市議団

わが党は、物価高騰から市民の暮らしを守るため、消費税減税やインボイス中止を国に求め、学校給食費の無償化や加齢性難聴者の補聴器購入補助、国保料や介護保険料の引き下げなどを要求しました。また、公的備蓄の抜本増など防災対策強化を求めました。

高島市長が都市の成長を生活の質の向上に結びつけるという名目で強かに推進してきた「天神ビッグバン」などの大型開発や「世界水泳福岡大会」などの巨大イベントは、その恩恵が大企業にばかり集中し、市民には回っていません。市内経済の活性化を図るためにも、市民の暮らし・福祉や市内中小業者の経営を応援する市政へ転換することを求めました。

また、市民からまともに意見を聞かずに強行した保健所の統廃合や老人福祉センターの入浴事業廃止などについて、トップダウンで押し付ける市政運営はやめるべきだと求め、その中止を要求しました。今後とも市民の切実な願い実現に向けて全力をあげます。



ホームページ

## 自民党新福岡

福岡市は、目指す都市像として「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を掲げ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創出することを都市経営の基本戦略として、これまで都市づくりに取り組んできました。

その結果、全国でも元気なまちとして認知されるとともに、本市の人口も増加し続け、2040年にはピークの約170万人に達すると予想されています。また、「住みやすさ」においても高水準を維持するなど、本市の評価は市内外問わず高いものとなっています。

引き続き、本市の魅力さをさらに高め、国内外の人達に選ばれるまちにするため、現在、福岡市の未来に向けた次期総合計画の策定を進めています。

私たち自民党新福岡は、引き続き本市の未来のために何が出来るかを常に問いながら、地域の声を実現するべく汗を流し、自分たちが生まれ育ったこの大好きな福岡をもっと良いまちにするために全力で取り組んでまいります。



ホームページ

## 新しい風ふくおか

誰もが心豊かに生きやすい「ふくおか」の実現には、地域課題の一つ一つに対して丁寧に向き合っていくことが大切です。一方で、人口構造の変化や先端技術の進展、世界情勢や地球規模の環境変化など、わたしたち市民の生活に影響を及ぼす外部環境の動静にも対応していく必要があり、長期的・大局的な視座を伴う行政運営が今後より求められます。

新年度の予算編成に際しまして、高齢者の健康と生活を支える取り組みや、将来を担う子どもたちを支える教育予算・子育て支援の拡充、障がい児・者やそれを支える家族への寄り添い支援など、人を大切にする行財政運営を求めました。併せて、将来の持続的な歳入確保のために、経済循環を回し続ける促進策や新たな価値を生み出すイノベーション分野への積極的な予算措置が図られるよう要望したところです。これからも「都市の成長」と「人への優しさ」、両輪のバランスの取れた福岡市の政策実現に尽力致します。



ホームページ